

## 公民館パワーアップ講座(第4回)

平成29年2月6日(月) 青森県総合社会教育センター 第1研修室

平成29年2月6日(月)、青森県総合社会教育センターにて「第4回公民館パワーアップ講座」を開催しました。この講座では、県内5公民館から「私のオススメ事業」というテーマで、特色ある事業を紹介していただきました。コーディネーターの弘前大学教育学部 講師 松本 大 先生には、参加者の皆さんから各事業に対する様々な質問を引き出してもらうとともに、今後の公民館運営に対する助言をいただきました。ここでは、それぞれの事業の概要とポイント等をご紹介します。

### ①「浪岡野沢公民館まつり～地区小学校とともにつくる公民館まつり～」

青森市浪岡野沢公民館 主任業務員 対馬昌子氏 業務員 佐藤真理子氏

#### ○浪岡野沢公民館まつりとは？

- ・浪岡野沢地区地域住民の文化・芸術に対する関心を高めるとともに、各世代の交流の輪を広げ、地域文化活動の振興を図る事業です。地域住民の生涯学習の充実、連携・交流を目的としています。毎年600～800名の来校者で賑わい、地域住民のふれあい・親睦の場となっています。

#### ○事業実施の工夫点

- ・実行委員会を組織し、関係団体（老人クラブ、婦人会、子ども会、母親クラブ等）との交渉や小学校との打合せを行っています。互いに歩み寄る姿勢を大事にしながら取り組んでいます。
- ・小学校と地域が連携・協働して教育活動を進めています。その際、小学校と公民館との役割分担を明確にしています。また、事業終了後には小学校と合同で反省会を実施し、次年度の開催日等を決めています。

#### ○地域との連携の在り方

- ・地区町内会の回覧を利用して、ボランティアの募集を兼ねた事業チラシを毎戸配布しています。また、地区町内会の有線放送を有効に活用し、参加を呼びかけています。

#### ○事業の課題

- ・関係団体が年々減少し、各町内会の協力が頼らざるを得ない状況にあります。
- ・補助金が減少しており、各町内会からの助成金を増やしてもらって対応しています。

### ②「和とつなぐれあじがさわ～町民みんなが参加できる交流の場づくり～」

鯉ヶ沢町公民館活性化事業 和とつなぐれあじがさわ 代表 上野志津子氏

#### ○「和とつなぐれあじがさわ」とは？

- ・以下の5つを目標に、5公民館で事業を行っています。  
①5地区の公民館を活用して、地域と公民館をつなげる。②地区の人と人をつなげる。③他地域からの参加者も受け入れ、全町の人と地域の人をつなげる。④人材発掘と関係機関の活性化を図る。⑤子育てしやすい環境をつくり、少子高齢化からの脱却を図るために異年齢の人と人をつなげる。

#### ○事業実施の工夫点

- ・親子で参加可能な企画をすることで多数の参加者を得ています。また、日常ではなかなか体験できない内容にするなど、目新しさを失わないよう工夫しています。
- ・事業ごとに周知方法と参集範囲を変え、ホームページやSNS等、紙媒体以外での周知も行っています。
- ・福祉衛生課母子支援センター、子育て支援グループ等と協力・連携しながら事業を展開しています。

#### ○今後について

- ・公民館には、地域の人と人をつなぎ、地域の活性化に欠かすことのできない役割があると多くの方に認識してもらえました。また、子どもたちは地域の中で育っていくのだということを、イベントを通して保護者の方々に感じていただけたことが、今後の公民館活性化につながるものと考えます。
- ・巨大紙相撲への関心がまだまだ低い状況です。町全体の行事として位置づけていくために、町民へどのように働きかけていくか、どのようにしたら気軽に参加できるかを検討していきます。

### ③「六戸町青年講座～青年層の学習機会の確保と充実～」

六戸町中央公民館 主査 赤平祐奈氏

#### ○六戸町青年講座とは？

- ・仕事や家事、子育てで日々を過ごしている20～40代を対象とし、同世代の交流の場の提供と、地域とのつながりや余暇の楽しみ、生涯にわたり学習活動を行う楽しみを知ることを目的として実施している事業です。アロマクラフト作り教室、チーズ講座、ワイン講座等、全10講座を実施しています。
- ・同じ会場で子育て支援事業を実施することにより、子ども連れでも参加しやすいよう工夫しています。

#### ○事業の成果と課題

- ・講座終了時のアンケート結果では、「とてもよかった」が85%、「よかった」も含めると90%を超えてい

ます。参加者の満足度が高い内容で事業を実施できています。今年度はこれまで開催して欲しいという要望が寄せられていたお酒に関する講座も開催し、新たな事業展開で参加者を増やすことができました。

- ・広報手段は、広報紙、回覧、チラシ等のほか、SNS も活用しています。今年度はポスティングも実施しましたが、思ったような効果はみられませんでした。広報手段を見直す必要性を感じています。

#### ○今後について

- ・現在、人財バンクの情報更新を行っています。今後は人財バンクに登録されている情報を活用した講座の実施も目指したいと考えています。
- ・青年講座からサークル活動への発展といった、つながりを形成する活動の拠点づくりを目指しています。20～40代という年代は、仕事や子育て等、日常生活に追われているので、まだ時間が必要と思われます。
- ・公民館は、いつでも誰でも気軽に学びに行ける場所であるべきと考えます。子育てや仕事から離れた時に、これまでの学習が役に立ったと実感してもらえるように、多様な学習機会を提供したいと考えています。

#### ④「大畑地区ゼミナール～地区の実態に応じた講座づくり～」 むつ市大畑公民館 館長 佐藤時男氏

##### ○大畑地区ゼミナールとは？

- ・大畑地区の歴史や文化を広く知ってもらうとともに、若い世代の方々への継承を図る事業です。

##### ○事業実施の工夫点

- ・公民館に限定せず、地区内の様々な場所で講演や説明会等を行っています。また、講演内容や話題提供は、幅広い分野で行っています。今後、地区の食文化の継承をテーマにした講座も開催したいと考えています。
- ・生活改善グループ等、地域に根ざした団体等と連携しています。また、大畑の歴史を語る上で中心となる神社仏閣等とも連携しています。講師は、地域住民または大畑地区に関係の深いの方々をお願いしています。

##### ○事業の成果

- ・公民館を利用しているサークルとの連携が強化されてきています。また、若い世代の方々の参加も見られるようになりました。

##### ○事業の課題

- ・講師を務めてくださる先生方の高齢化や参加者の固定化が課題として挙げられます。また、ゼミナールのPR方法にひと工夫が必要であると感じています。
- ・公民館職員の人員削減、講師報酬等の予算削減による事業の見直しが迫られています。むつ市中央公民館との事業連携、町内における各種団体や町おこし団体等との連携も課題として挙げられます

#### ⑤「東っ子クラブ～小学生を対象とした講座の取組～」 八戸市立東公民館 非常勤主事 田端孝子氏

##### ○東っ子クラブとは？

- ・週末の公民館を子どもたちの居場所にしようと立ち上げた講座です。子どもたちを見守りながら一緒に活動しています。高齢者や中高生とのふれあいの場を設け、コミュニケーションの大切さを学ばせています。

##### ○事業実施の工夫点

- ・地区内の各小・中学校の行事予定を確認し、重ならないように講座の日程を組むことに配慮しています。
- ・徒歩圏内から外れている小学校もあるので、公民館までは保護者の送迎をお願いしています。
- ・中高生にボランティアを依頼し、活動を手伝ってもらっています。
- ・世代交流や昔の遊びなどを経験させたいという願いから、地区の社会福祉協議会とタイアップして講座を実施しています。公民館のイベントでは小学生を対象としたコーナーを設け、ふれあう機会にしています。

##### ○事業の成果と課題

- ・子どもたち同士が学校の垣根を越えて交友関係を深めています。
- ・ボランティア活動に参加している中高生は、自分たちにもできることを考え、率先して活動できるようになってきています。大人に助けてもらうのではなく、一緒になって活動するということを学んでいます。
- ・公民館職員だけでは手が足りない講座があり地域の方やボランティアをお願いしていますが、「東っ子クラブ」専属のボランティアを招集できないかと思案中です。

#### 〈参加者のアンケートから〉

- ・それぞれの地域、公民館において、課題に向かいながら事業を行っていることに感心しました。当町も頑張っていかなければならないと思いました。
- ・各公民館とも地域住民のことを考えて工夫を重ね、素晴らしい実践をなさっていると感じました。
- ・自分が悩んでいることが他の公民館の方も同じように悩んでいたりして、すごく心強く感じました。真似したい事業もたくさんあったので、これからの事業づくりに生かしたいと思います。
- ・視点が違う事業があって、面白かった。ぜひ参考にしたい。
- ・写真やスライドを使用し、わかりやすかったです。地域は違っても悩みは一緒ということも共有できました。
- ・自分が勤務する公民館でも事業がマンネリ化してきていたので、たくさんの事業内容を聞くことができ、参考になりました。